



高崎芸術劇場

高崎市 都市整備部 都市集客施設整備室

高崎芸術劇場は、「音楽のある街高崎」を創造・発信する拠点として、また、高崎市民と高崎に集う人々の交流の場として、令和元年9月20日にベートーヴェン交響曲第9番「歓喜の歌」で幕を開けしました。

高崎は古くから交通の要衝として栄え、新幹線・高速自動車道等の広域ネットワークの結節点として発展してきており、今日でも高崎駅は、上越・北陸新幹線をはじめ多数の鉄道やバス路線が乗り入れる県内唯一の交通ターミナル機能を擁しています。当施設は、この群馬の玄関口ともいえる高崎駅から400mに位置しており、上信越と首都圏を結ぶ中心都市の「顔」であり、新しい高崎の象徴でもあります。



外観写真

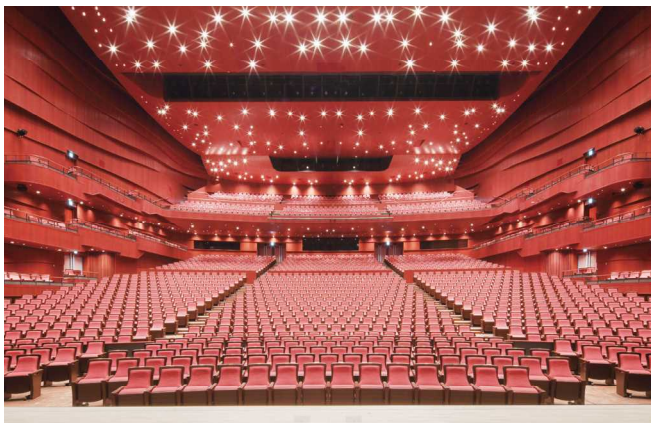
■施設紹介

高崎芸術劇場は、地上8階、地下1階建て、延床面積約27,000㎡で、大劇場、スタジオシアター、音楽ホールという3つのホールと、リハーサルホール、レッスンルーム、スタジオなどの9つのスタジオ群で構成されています。

大劇場は幅広い演出に対応できる最新鋭の舞台装置を備えた高機能な多目的ホールで、最大2,030席の大空間でのステージは圧巻です。また、舞台面と舞台間口の広さが国内最大級を誇る舞台は、臨場感を増大し、客席と舞台の一体感を生み出します。

スタジオシアターは奥行きが変化する舞台と、ロールバック形式の可動席により、568席での公演から、客席まで全てフラットにした最大1,000人収容可能な平土間まで変化し、イベントに合わせて自由な空間形成が可能です。舞台内部は黒を基調とし、思いのままの照明演出でロックコンサートなどのスタンディングイベントを行えるほか、能舞台も備えた創造性あふれる空間です。

音楽ホールは、「音楽のある街高崎」を象徴した412席のホールで、どの座席からも舞台を近く感じられるリサイタルに適した空間となっており、柔らかな質感に包まれながら、本格的な響きを味わえます。



大劇場



スタジオシアター

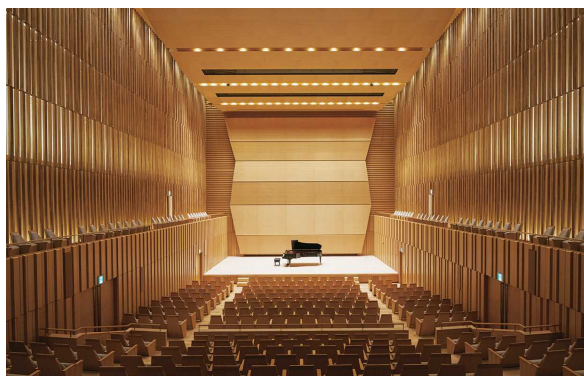




このほか、公演の練習、発表会やワークショップに利用が可能なリハーサルホール、市民の多様なジャンルの創造活動を活性化させるレッスンルームやスタジオを備えています。また、当施設の1階には、シアターカフェ&レストランもオープンし、公演への期待や余韻を後押しする空間で、来館者をもてなします。

高崎芸術劇場は、日本を代表する音楽と文化芸術の殿堂として、さまざまなジャンルの音楽や、オペラ、ミュージカル、演劇、伝統芸能などの舞台芸術を「鑑賞・創造・発信」とともに、活発化している市民の文化芸術活動を支えていきます。

すでに多種多様のラインナップが決まっており、魅力的な公演がめじろ押しです。開館に合わせてペDESTリアンデッキも開通し、高崎駅から徒歩約5分というアクセスのよさを売りに、県内外からも多数の集客を見込んでいます。みなさまも是非、この至極の空間で、高質な響きを味わってください。

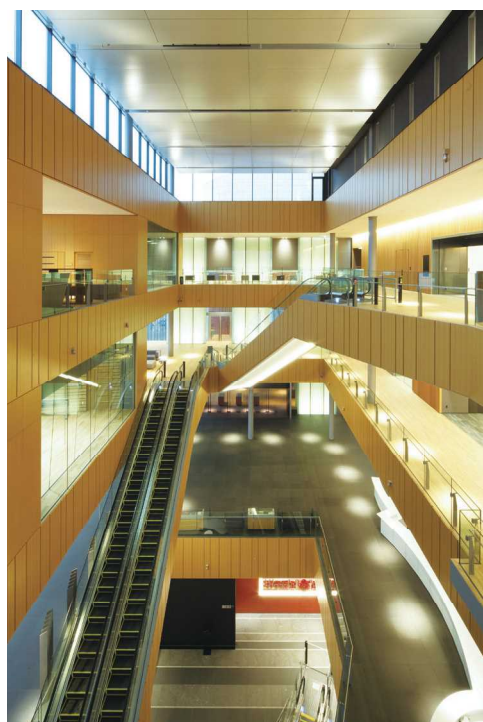


音楽ホール

■整備概要

高崎芸術劇場は、社会資本総合交付金の都市再生整備計画事業(高崎駅東南地区H25~28及び高崎駅東口周辺地区H29~R2)と、暮らしにぎわい再生事業(高崎駅東口地区H26~31)において、地域の「文化力・市民力・産業力」の向上により都市ブランド力を確立し、地域内外の交流人口を増大させ、集客都市として持続可能なまちづくりをすることを目的に整備しました。

また、平成20年度に策定した中心市街地活性化基本計画は、第2期の最終年度を迎えています。区画整理やペDESTリアンデッキにより、立体的都市基盤の整備は整いつつあり、高崎アリーナの開館や大型商業施設の開業、このたびの高崎芸術劇場の開館、さらに来春にはGメッセ群馬のオープンを迎え、中心市街地地区は都市機能の集積が急速に進み、高崎駅を中心として多くの人々が集まり、新しい都市文化や経済活動を生み出す、にぎわいと躍動感あふれるまちづくりへと繋がっています。



エントランスホール

■歴史の継承と進化

「音楽のある街高崎」を象徴しているのが、日本の地方管弦楽団の草分け的存在である群馬交響楽団。1945年に戦後の焦土の中から新しい時代の希望として楽団は生まれ、1961年に「群馬音楽センター」が建設されて以降、高崎に本拠地を置く群馬交響楽団は、日本の音楽界を古くから牽引し、「音楽のある街高崎」というスローガンとともに、本市の文化芸術の象徴とされてきました。その創造の場でもある群馬音楽センターもまた、たくさんの音楽や舞台芸術を創り出してきた歴史があります。そして高崎はクラシックばかりではなく、アマチュアのストリートライブも盛んで、ロックやポップスの分野でも日本を代表する数多くのアーティストを輩出してきました。吹奏楽や合唱など、多彩で質の高い市民の音楽活動も、さらに歴史を蓄積しています。

高崎芸術劇場は、これら記憶に残る多くの感動や共感を生み出してきた歴史を継承し、新たに進化、創造していきながら、市民が誇りと愛着を持てる施設であり続けます。

